

令和4年9月定例会市議会市政報告

令和4年第4回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

釧路総合振興局管内における感染者数につきましては、6月は675名と減少が見られましたものの、7月は2,505名となり、8月は6,889名と過去最多を更新し、9月は5日現在で1,046名となっております。

また、釧路市内でのクラスターについては、7月に3件、8月に4件発生しております。

現在、オミクロン株による感染が拡大しており、釧路根室管内における病床使用率は24.4%にとどまっておりますものの、感染者や濃厚接触者の中には一定数、医療従事者もおりますことから、人手不足となっている医療機関も発生しているところであります。

市におきましては、庁内の対策本部会議を開催し、感染拡大防止対策等について情報共有を図りつつ、広報紙などにより、基本的な感染対策の徹底やワクチン接種の呼びかけを行ったほか、LINEを活用した感染者情報等の発信を行ってきました。

次に、新型コロナワクチン接種につきましては、現在1回目～4回目の接種を行っており、9月4日現在の3回目の接種率は70.1%となっており、4回目の接種率は60歳以上で56.0%となっております。

なお、4回目接種の対象者については、当初は60歳以上の方と18歳以上で基礎疾患を有する方等に限定されておりましたが、7月22日より医療従事者や高齢者施設等の従事者も対象となり、順次、接種を進めているものであります。

また、オミクロン株対応ワクチンの接種につきましては、9月半ば以降から、2回目の接種を完了している12歳以上の方を対象として実施することとしており、現在、準備を進めているところであります。

報告の第2は、「**台湾花^{かれん}蓮市との友好交流協定の締結**」についてであります。

本年8月31日、台湾東部の太平洋岸にある花蓮県花蓮市と釧路市は、友好交流協定を締結いたしました。

釧路市と台湾との交流につきましては、これまで、釧路市動物園と台北市立動物園との友好園交流や、釧路公立大学と明道大学との教育交流のほか、釧路日台親善協会を中心とした民間主体の交流など、様々な地域や分野で、官民一体となった交流が活発に行

われてきております。

そうした中、昨年、台北駐日経済文化代表処札幌分処から、交流をさらに深め、台湾全体に広げていくため、台湾東部の太平洋岸にある花蓮県花蓮市との新たな交流についてご提案をいただき、その後、花蓮市役所とオンラインでの協議を進めてまいりました。

釧路市と花蓮市には、太平洋に面した国際港に貨物船やクルーズ船が寄港すること、空港があること、豊かな自然資源に恵まれた観光地であること、加えて、先住民族の文化を大切に守っていること、といった様々な共通点があります。

このような共通点を踏まえ、今後、両市が様々な交流を通じて友好を深め、両地域の経済の活性化を図ってまいりたいとの想いを両市が共有し、この度の協定締結に至ることとなったものであります。

友好交流協定の調印式につきましては、オンラインにより実施しており、協定書の内容は、両市の繁栄と発展を促進するため、文化、芸術、体育、観光など幅広い分野での交流に向け、観光交流の活発化を図ることを主旨としております。

今後につきましては、まずは、コロナ後の観光回復に向け、互いのまちの魅力について情報発信を行いながら、相互訪問による観光プロモーションを検討していきたいと考えております。

報告の第3は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約99億8千万円となっており、8月31日現在における発注済額は約86億円であり、発注率は、86.2%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約75億4千万円、率ではおよそ87.6%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約52%、上水道事業で約94%、下水道事業で約91%、住宅建設事業は約99%の状況となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。